

まちの出来事

災害時における飲料水の確保と平常時の地域防災力強化 災害対応型自動販売機協定セレモニー

北海道コカ・コーラボトリングは、4月21日、市と「災害対応型自動販売機による協働事業に関する協定」を締結し、市内4カ所にこの自動販売機を設置しました。

この自動販売機の電光掲示板には、遠隔操作により、災害発生などの文字情報が表示されます。

津波警報や災害発生時には、いち早く情報を表示させ、市

民への安全安心のための情報伝達として活用されます。また、緊急時には自動販売機内の飲料水を無料提供することとなっています。



ストップ！地球温暖化 緑の募金運動

「緑の募金運動」が4月28日、ポスフル前で行われ、宮川市長をはじめ、参加団体の皆さんと一緒に、訪れる買い物客一人一人に声をかけ、「よろしくお願ひします」と頭を下げ、募金に協力を求めました。

参加団体は11団体にもほり、環境に対する意識の強さ

が感じられました。今年のスローガンは「緑の募金でふせごう地球温暖化」です。

今回の募金活動は、5月31日まで実施しましたが、秋季募金も9月から実施を予定しています。

集まった募金については、植樹祭などに使われることと

春の足音が響く 春鮮まつり

春鮮まつりは、春の花観光時期にあわせて、紋別のグルメや観光施設の魅力を知ってもらおうと、「春鮮まつり」のぼりを立てた市内各店が会場となり、5月1日からスタートしました。

クーポン券を手に入れお得なサービスを受けたり、スタンプラリーで地元特産品などが抽選で当たるなどの企画となっています。

なかでも、土日・祝祭日は、道の駅もんべつで、テント売店をオープンさせ、「カニ甲羅



なっています。

盛り」を特別価格で販売すると同時に、購入後すぐに炭火で焼いて食べられるようにしたところ、海の幸を味わう市民や観光客がたくさん訪れました。春鮮まつりは、6月6日まで行われ、紋別の味をPRしていくこととなります。

緑豊かな森林をつくる 第15回オホーツク魚の市民植樹祭

5月9日市の恒例行事となった「第15回オホーツク魚の市民植樹祭」が開催され、総勢350人が参加しました。今回植えたのは、針葉樹やサクラなどの広葉樹、合わせて35本。

10年以上前に植えた木は、大山山頂の植樹祭会場で大きく成長しています。

参加者は親子連れが多く、子どもたちが、スコップなどをもち一生懸命苗を植え、記念のクイを立てました。

植樹祭終了後には、「大山スキー場で「海の幸パーティー」に参加し、かに汁やホタテ貝



焼きなどを味わっていました。中には、持参した肉や山菜を焼いて食べたりするなど参加者同士の交流を深め、盛り上がりを見せていました。

